

第2回福生市特別職報酬等審議会 議事要旨

■ 開催概要

日 時	令和5年 12 月 15 日(金) 10:00~11:00		会 場	第1棟4階庁議室
参加者	審議会	(出席) 10名		
	委員	(欠席) なし		
	市職員			
	事務局	職員課長以下3名		

■ 議事と要旨

議 事	1 開会 2 会長あいさつ 3 審議 4 その他 5 閉会
1 開会	省略
2 会長あいさつ	今回内容を議論いただくことになるが、大変重要な会議となっているので、御協力のほどお願いしたい。
3 審議	<p>委員より進行方法について説明依頼 事務局より説明</p> <p>(1)報酬額等の改定について</p> <p>【各委員の発言要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市制度が施行された順番で高い傾向がある。人口が多いところは高い。市長の給与が高いところは、議員も総じて高い傾向がある。 ・市の財政の経常収支比率、財政力指数、実質収支率と報酬額はあまり関係していない。それ以外の要素で決まっている傾向が強いと思う。 ・議員報酬は1人当たり何人の市民の負託を受けるかが一つの物差しになって良いのではないか。今の議員1人当たりに対する市民の数を比べると少ないので、例えば、平均に近い議員数に直して、平均くらいの報酬に引き上げるといような形が根拠としては説明しやすいと感じる。基本的には引き上げて良いと思うが、基準はそのように考える。 ・議員1人当たりの市民の数が非常に特徴的な数字である。議員1人当たりの市民数の平均4,020人に対して福生市は2,964人と、唯一3,000人を切っている。類似の市としては羽村市がほぼ同じ人口で議員定数18人という状況もあって、1人当たりの市民数が3,026人という状況なので、少なくとも3,000人台には載せないと、報酬を上げるとい結論を導いた場合、市民の理解が得られないのではないか。 ・平成7年以後報酬を上げてないから上げたいとか、26市の中での報酬の額が低いから、順位が低いから上げたいということだけでは、市民の理解は得られないのではないかとということ、報酬を上げるのであれば、議会側もそれなりに身

を切るとすれば市民の理解は得やすい。議会として、定数削減を検討されたいぐらいのことは答申に書けると思う。他自治体の例もあるので、審議会としての意見を述べてあとは議会がどう判断するか見守る。据置きか、上げるのであれば議員定数削減とセットでという形が良いのではないか。

・長野県佐久市で議員報酬が低く、議員のなり手が少ないと、引き上げたいということで諮問があり、答申は引上げ相当とし、附帯意見の中で報酬の増額に当たっては議会において議員定数の削減を検討されたいという内容が入っていたが参考になる。答申を受けて議会側でどう動いたかも、市役所のホームページで見られる。令和元年に市長から諮問があり、令和2年の12月に答申が出され、それを受けて議会側で検討し、令和5年9月の条例改正で議員定数削減と、報酬の増額を併せて議決をした。増額は令和6年4月分から適用し、議員定数は次の一般選挙からということで、佐久市の場合は、令和7年から適用される。選挙前に報酬を上げないと候補者を増やすという効果がないので、1年ぐらい前倒しは仕方ないと思う。

・議員も働く者という意味では、物価も上がっているところでは上げるべきだという話は前回もあったが、最終的な結論は据置きということになった。この間、かなり物価上昇が起きていて、報酬はかなりの額で目減りしている状況である。今変えるのであれば、今の物価上昇等も加味した報酬にしないと、目減りしている状況が加速してしまう意味でも報酬を上げるべきだと思う。議員定数については報酬審議会ではなく議会の方で考えていただきたいと思う。

・20何年という年数のスパンで言えば、世情は変化しており、物価の問題は市民一般に影響している。これからの時代、専念していただく議員が必要となると、議員報酬は大きな問題だと思う。市民としては、生活も維持しつつ精力的に議員活動をしていただきたい。節約に気を取られながらセーブしていくような議員活動は適切ではないと思うので、議員活動を精力的にやっていく中での報酬額という考え方でいけば、引き上げることに賛成である。どの程度引き上げるかはもちろん、しっかりした判断や計算が必要だと思う。

・世の中賃金を上げようという中で、福生は中小企業からの収入を得ている方が多いと思うので、地域的には、上場会社の賃上げに少しずつ遅れながら、引上げの状況が今後出てくると思う。そういう中で、市民感情からするとまだまだ福生で議員の報酬を上げることに否定的な方も多い中で、報酬を決める基準というのが、いわゆる市民にとって納得感のある基準であることが必要だと思う。

・特別職報酬等各市状況 10万人未満の平均までの引上げは、問題ないのではないか。

・福生市の議員定数について、17名で試算した3,313人のレベルまで議会で定数の見直しを検討してほしい。もしそのような結論が出れば、議員にもっと働いてもらう意味で、26市の平均まで引き上げていいと思う。議員のもっと働いてほしい期待を含め、定数の検討を含めた踏み込みをするか、ある基準の中で市民の納得性のあるところで収めるか、そのいずれかだと思う。

・企業として福生市を考えた場合、個別に一生懸命頑張っているということであれば、類似業務業態のところと同じ数字についてはまず引上げをして、かつ最終

的な年俵については期末手当の方で調整すればいいのではないか。

・市議会の議員は、普通のサラリーマンと違い、社会的な使命や退職金がないことを考えた場合、ある程度の報酬がないと厳しいと思う。最低限、類似業務と同じように上げるべきではないか。

・28 年間、改正がないことが問題だと思う。資料によれば、財政力も昔より良くなってきているので、この辺で上げてもいいと思うが、議員のみをここで上げるのが、市民の感情から心配かなと思う。

・議員の仕事内容が分からないという意見が報酬審議会で過去にもあった。先日審議会であったとおり、年間で6か月ぐらいは働いているのではないかということも他の委員はほとんど知らない話である。今回は話をしていただき、理解されたと思う。28 年間、議員報酬が改正されていないということで、今回は改正してもいいのではないか。

・議員報酬に関して、28 年間ぐらゐ据置き、一方で市長、副市長、教育長は平成30 年に一度改定でベースアップしており、その金額に関しては、色んな要素があるので、はっきり言えないところはあると思う。ただ福生市の職員は、以前はかなり人口規模から上の方にいた。想像だが、職員が高くて、それで特別職が比較して低いこともあり、市内でのバランスを考えた部分があったと思う。それで今回の議員報酬に特定して審議することは、28 年間据置きになっていて、一方では職員、市長、副市長、教育長は、高くはないが、ベースアップされているので議員の方もということだと思う。議員の口からベースアップは言えない。だから審議会で方向を決めてもらえば、議員も助かると思う。

・議員は今専業が多い。7割から8割、専業の方がいるのではないか。議員といえどもやっぱり生活がある。付き合い等で支出も多く、それなりの報酬は必要になると思う。近年、物価も高騰している。

・福生市の財政は、補助金、交付金が安定しているので、自主財源比率や、財政力指数は低いですが、一方で市債や基金も健全な状態で、全体で見れば健全な財政状況だと思う。

・市長、副市長、教育長が26 市全体では20 位、21 位とかそのぐらゐだが、人口10 万人未満では真ん中がちょうど平均値ぐらゐなので、そのぐらゐまでは上げていいのではないか。

・10 年ぐらゐ前に議員定数削減で動いた。羽村を基準に動いたが、なかなか風当たりが強く、最終的には妥協して、20 人と18 人の真ん中で19 人ということで、一応、議員定数を削減した。議員をしていると、仲間意識もでき、互助会的な雰囲気も出て意外と勇気がある。だから審議会の本来の審議事項ではないが、附帯意見や要望のような形で、ぜひ出していただきたい。ただ報酬増額と議員定数の削減を一緒にすると、報酬の増額が遅れてしまう可能性がある。報酬をメインとして、議員定数削減は附帯意見とか要望で行えばよい。当面は18 名で、そうすれば、3 常任委員会あるから6 名ずつで、ちょうどよい。

・上げるべきだと思う。附帯意見か、要望事項として、議員定数について言っていたかないと市民の理解は全く得られないと思う。議員で生活ができるレベルを報酬で、ある程度出してもいいと思うが、それに見合う仕事をしていただくことが一番大切だと思う。議員になってからこれから勉強しますという1 年生議員の人が多いが、ちゃんと勉強してから出るべきである。例えば部長級のレベルの報

	<p>酬出すなら市の部長もできる能力と力を持った人が議員になってもらいたい。福生市は中小企業みたいなものなので、なかなか高い報酬は出せないが、一生懸命やっていただいてこのまちを良くしようとやっていただいて、若い人たちが手を挙げられるような議員報酬で、選挙もあることも含めるとあげていいのかなと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定数削減についてはぜひ要望なり、附帯意見なり、入れていただければよろしいのではないか。人口と割合だけ見ると、議員1人当たりの平均的な人口のところまで議員の報酬を上げるなら、議員定数は思い切って削減していただきたいと思う。 ・市長を見ていると、ほとんど 365 日近く仕事している。時給換算すると、多分市長は突出して低いと思う。 <p>【結論】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員が様々な意見を持っているが、方向性としては議員報酬について引き上げるという方向でまとめていく。 ・額、実施時期については次回審議 ・次回、事務局にて参考資料の提出
4 その他	<p>第3回日程は 12 月 27 日に決定 委員報酬について事務局より説明</p>
5 閉会	<p>省略</p>

以上